

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：京都の海の沿岸動物学入門 ILAS Seminar :Introduction to marine animals in the coastal areas of Kyoto			担当者所属 職名・氏名	フィールド科学教育研究センター 助教 フィールド科学教育研究センター 准教授 フィールド科学教育研究センター 助教	鈴木 啓太 甲斐 嘉晃 邊見 由美	
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール (対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	7 (7) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	金5	教室	未定 (北部構内)			使用言語	日本語
キーワード	舞鶴水産実験所 / 魚類 / プランクトン / ベントス / 日本海						
[授業の概要・目的]							
京都の海をフィールドに日本海沿岸域の環境と生物の特徴と多様性を学ぶ。							
まず、吉田キャンパスにおける3回の講義と参加者同士の議論を通し、日本海沿岸域の魚類とプランクトン（浮遊生物）およびベントス（底生生物）の形態や生態と生息環境の関係を学習する。							
次に、フィールド科学教育研究センター舞鶴水産実験所において2泊3日の実習に参加し、教育研究船による海洋観測や生物採集、サンプル分析やデータ解析、卸売市場の見学などを行い、京都の海の魅力と不思議を体感する。							
最後に、吉田キャンパスにおいて講義と実習を通して学んだ成果を各自が発表し、参加者同士で意見交換を行う。							
[到達目標]							
・日本海沿岸域の環境と生物の特徴と多様性を理解する。 ・沿岸域における生態学的調査の基礎を習得する。 ・海洋生態系の主な構成要素とそれらの相互関係を理解する。							
[授業計画と内容]							
第1回講義 6月21日（金）「日本海の環境とプランクトン」 （担当：鈴木；場所：農学部） ・海洋生態系の主な構成要素とそれらの相互関係を説明する。 ・日本海の環境とプランクトンの特徴を解説する。 ・担当教員による関連研究の最新成果も紹介する。							
第2回講義 6月28日（金）「日本海のベントス」 （担当：邊見；場所：農学部） ・ベントスの多様性とその生息環境について解説する。 ・日本海におけるベントスの特徴について解説する。 ・担当教員による関連研究の最新成果を紹介する。							
第3回講義 7月5日（金）「日本海の魚と水産業」 （担当：甲斐；場所：農学部） ・日本海の魚の特徴とその由来を解説する。 ・日本海を代表する魚種とその漁業を解説する。 ・日本海の魚類多様性に関する議論をする。							
----- ILASセミナー：京都の海の沿岸動物学入門(2)へ続く ↓ ↓ ↓							

ILASセミナー：京都の海の沿岸動物学入門(2)

実習 7月13日(土)~15(月・祝)「京都の海の魅力と不思議を体感」

(担当：鈴木・甲斐・邊見；場所：舞鶴水産実験所)

- ・西舞鶴駅に集合・解散(公共交通機関により各自移動)
- ・教育研究船により海洋観測と生物採集を体験する。
- ・魚類・プランクトン・ベントスを同定・計数し、環境と生物の関係を分析する。
- ・卸売市場などを見学する。

第4回講義 日程未定「成果発表と意見交換」

(担当：鈴木・甲斐・邊見；場所：農学部またはオンライン)

- ・講義と実習を通して学んだ成果を各自が発表し、参加者同士で意見交換を行う。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

講義への参加姿勢(20点)、実習への参加姿勢(40点)、成果発表と意見交換の内容や姿勢(40点)について、到達目標の達成度にもとづき評価する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

山下ほか『里海フィールド科学—京都の海に学ぶ人と自然の絆』(京都大学学術出版会, 2022年) ISBN:978-4814004454

蒲生俊敬『日本海 その深層で起こっていること』(講談社, 2016年) ISBN:978-4062579575

中坊徹次『小学館の図鑑Z 日本魚類館』(小学館, 2018年) ISBN:978-4092083110

日本ベントス学会『海岸動物の生態学入門—ベントスの多様性に学ぶ』(海文堂, 2020年) ISBN:978-4303800512

(関連URL)

<https://www.maizuru.marine.kais.kyoto-u.ac.jp/>(舞鶴水産実験所ホームページ)

[授業外学修(予習・復習)等]

参考書などに目を通し、日本海の環境と生物の概要を理解したうえで、自らの興味に応じ疑問点を整理してください。

[その他(オフィスアワー等)]

特に専門的な知識は必要ありませんが、海の環境や生物に興味のある人を募集します。フィールドでの実習を伴うため、傷害保険(学生教育研究災害傷害保険、旅行傷害保険等)に必ず加入してください。また、実習期間中の交通費や宿泊費は各自が負担することになります。なお、第4回講義「成果発表と意見交換」を8月中旬以降に実施した場合、成績報告が通常より遅れる可能性があります。